

幅広い自動化ニーズに対応する同時5軸加工機 “VARIAXIS C-600”

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎高嗣、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、幅広い自動化ニーズに対応する同時5軸加工機「VARIAXIS C-600」を開発し、欧州国際工作機械見本市(EMO Hannover 2019)に出展します。

VARIAXIS C-600は、さまざまな自動化システムとの適合性を高めた同時5軸加工機です。多関節ロボットを利用した自動化システムの構築も考慮し、ワーク搬入出用の自動式開閉ドアを搭載可能としたほか、機内は凹凸面の少ない構造とすることでロボットハンドの十分な可動域を確保しています。

チルト・ロータリーテーブルは剛性の高い両端支持タイプを採用し、高速・高精度・高剛性加工を実現します。また、主軸やマガジン、クーラントシステムなど各部仕様については豊富なオプションを用意し、さまざまな加工ニーズに最適な一台を選択することが可能です。

新型CNC装置「MAZATROL SmoothAi」を搭載。多関節ロボットのティーチング作業を支援する機能などにより、自動化システムのスムーズな立上げ・運用を可能としています。また、AI(人工知能)を活用した加工条件の自動補正機能などにより、生産性の向上を実現しています。

当社はVARIAXIS C-600を9月16日(月)からドイツ・ハノーバーで開催される欧州国際工作機械見本市(EMO Hannover 2019)に出展し、販売を開始します。

【VARIAXIS C-600 外観】



※オプション仕様

掲載されているプレスリリースは、報道関係者へ発表した情報の要約です。

予告無く内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください